

程度副詞と形容詞・動詞との 呼応関係についての研究

——中国語の「越来越～」と日本語の「ますます」を中心に——

庄 鳳 英 ・ 成 同 社 ・ 朱 新 建

要 旨

程度副詞と呼応関係にある述語の形容詞と動詞には厳しい制約がある。本稿は中国語の「越来越～」と日本語の「ますます」を中心にそれぞれについて学習者の誤用例を分析しながら、正しく習得する教授法を示すものである。

キーワード

ますます 越来越～ 兼類形容詞* 動詞 文型 母語干渉

*「兼類形容詞」とは本稿では中国語の品詞として形容詞と動詞を兼ねる形容詞のことをいう。

はじめに

事物や状態などの程度の変化が時間の推移とともに前よりいっそう高まることを表現する場合に、中国語には「越来越～」、日本語には「ますます」という二つの副詞が挙げられる。この二つの言葉は、次に示す日本語話者の中国語学習者と中国語話者の日本語学習者がそれぞれ作った誤用例のように、それぞれの学習者にとっては、決して簡単に習得できるものではないようである。

例(1):

- (×) 我的汉语越来越忘了。 → 我的汉语忘得越来越厉害了。
- (×) 我的汉语水平越来越高。 → 我的汉语水平越来越高了。
- (×) 近ごろはますます寒い。 → 近ごろはますます寒くなってきた。

このような誤用の原因はいろいろあると考えられるが、その主な原因の一つは「越来越～」と「ますます」の使い方について程度副詞と述語との呼応関係を正しく理解して把握していな

いからだと思われる。中国語の「越来越～」と日本語の「ますます」は例外なくそれぞれの述語になる形容詞や動詞について厳しい制約があるため、次に述べるように、「越来越～」、「ますます」と述語との関係がどんな制約があるか、そしてその正しい使い方は何か、学習者の誤用例を分析しながら明らかに示していきたい。

1. 中国語の「越来越～」と形容詞との関係について

中国の外国人の中国語学習者向けの『漢語水平詞匯大綱（中国語水準語彙大綱）』（以下『大綱』と略称）によると、形容詞は、一般形容詞、形容詞でもあり動詞でもある兼類形容詞、重ね型形容詞および述語になれない形容詞とに分類されている。

ところで、「越来越～」はすべての形容詞を修飾できるのだろうか。以下の例文を見ながら考察したい。

まず、「越来越～」と「一般形容詞」との関係を見よう。「一般形容詞」は程度を表す「很」の修飾を受けられるから、程度の変化を表す「越来越～」の修飾も受けられるわけである。さらに修飾する自由度がほかより大きい。

例（2）：

- 教室越来越乱。
- 客户越来越满意。
- 速度越来越快。
- 学习越来越困难。
- 颜色越来越红。

次に、「越来越～」と「兼類形容詞」との関係を見よう。『大綱』によると、中国語の兼類形容詞は次の17語しかない。

「通、低、饿、辛苦、行、方便、丰富、负责、高兴、挤、客气、亮、麻烦、暖和、破、热、少」。

「越来越～」はこのような言葉を修飾することもできる。兼類形容詞は形容詞として用いられる場合には、一般形容詞の性質と大体同じである。

例（3）：

- 肚子越来越饿。
- 交通越来越方便。
- 节目越来越丰富。
- 工作越来越辛苦。

(○) 车里越来越挤。

兼類形容詞は動詞として使うときに目的語をもつが、「越来越～」の修飾を受ける場合は目的語を伴うことができない。

例(4)：

- (×) 越来越俄他。
- (×) 越来越麻烦他。
- (×) 越来越挤人。
- (×) 越来越方便交通。
- (×) 越来越热菜。

次に、「越来越～」は重ね型形容詞を修飾しない。なぜなら重ね型形容詞の性質は、ある状態についての描写、説明ではあるが、程度の変化とは関係がないからである。

例(5)：

- (×) 包裹越来越沉甸甸。 → 包裹越来越沉。
- (×) 天气越来越暖洋洋。 → 天气越来越暖和。
- (×) 夜色越来越漆黑漆黑。 → 夜色越来越黑。
- (×) 羊羔越来越雪白雪白。 → 羊羔越来越白。
- (×) 天上的星星越来越亮晶晶。 → 天上的星星越来越亮。

最後に、「越来越～」は述語になれない形容詞を修飾しない。述語になれない形容詞は、ある属性、ある決まった事物の性質について叙述するもので、固定的なものなので、程度の変化とは関係がない。

例(6)：

- (×) 越来越基本。
- (×) 越来越一切。
- (×) 越来越男。
- (×) 越来越全部。
- (×) 越来越初级。

以上の例文から分かるように、中国語の4種類の形容詞の中、「越来越～」が修飾できるのは「一般形容詞」と「兼類形容詞」の2種類だけである。

日本語話者の中国語学習者で、「越来越～」で形容詞を修飾する場合、間違いが少ない。なぜなら、「越来越～」に相当する日本語の「ますます」は、中国語にあたる「基本、一切、男、全部、初级」などの言葉はいずれも名詞が副詞なので、これらを修飾することはほとんど見られないからである。また「沉甸甸、暖洋洋、漆黑漆黑、雪白雪白、亮晶晶」という構造を

している形容詞もないからである。

2. 日本語の「ますます」と形容詞との関係について

日本語の形容詞とは、「イ形容詞」と「ナ形容詞（形容動詞）」のことである。

『外国人のための日本語例文・問題シリーズ5——「形容詞」』（西原玲子等著）によると、形容詞は、物の形や状態を表す形容詞、話し手の判断を表す形容詞、話し手の感情を表す形容詞、願望、否定を表す形容詞とに分けられる。

「ますます」は前より程度が高まることを表す副詞で、形容詞を修飾する場合にはよく「～になる」、「～くなる」と呼応して使われる。

次に、中国語の対訳を示しながら、「ますます」と形容詞との関係のみよう。

「ますます」は事物の形や状態を表す形容詞を自由に修飾できる。この場合の「ますます」は中国語の「越来越～」の表す意味と同じである。

例（7）：

- 空がますます青くなる。／天空越来越蓝。
- 加工されたガラスはますます硬くなった。／加工后的玻璃越来越硬。
- あの小さな町はますます賑やかになってきた。／那个小城变得越来越繁华。
- あの人は老いてもますます元気になった。／那个人上了年纪，却越来越精神抖擞。

「ますます」は話し手の判断、感情を表す形容詞も修飾できる。中国語の訳語としては、「越来越、越发地、更」などにあたる。

例（8）：

- これからはますます暑くなります。／天气将会越来越热呀。
- あの子はますます人に親切になった。／那个孩子对人越来越热情了。
- 大学に入ると勉強はますます難しくなるだろう。／上了大学，学习会越来越难吧。
- その知らせを聞いて彼はますます悲しそうになった。／
听到那个消息他看上去越发地悲伤了。
- すもうは前から好きだったが、実際に見に行つて、ますます好きになった。／
以前就喜欢相扑，真的去看了之后，就更喜欢了。

以上の例文の形容詞は中国語の一般形容詞に当たるので、自由に「ますます」の修飾を受けられる。

願望を表す形容詞「ほしい」も「ますます」の修飾を受けられるが、「ほしい」を中国語に訳す場合には形容詞ではなく、能願動詞の「想要」になる。

例(9):

- (○) 川村君のかわいい子供を見て、わたしも子供がますますほしくなった。／
看到川村家的孩子那么可爱，我也越来越想要孩子了。
- (○) 家でする仕事が増えたと、わたしはますますパソコンがほしくなった。／
需要在家里做的工作不断增加，我越来越想要家用电脑了。
- (○) マイカーも古くなりよく故障するので、わたしはますます新しい車がほしくな
った。／我的车也旧了，总出故障，所以我越来越想要台新车了。

3. 中国語の「越来越～」と動詞との関係について

まずは「越来越～」と動詞と能願動詞の関係を考えてみる。

『大綱』によると、よく使われている能願動詞は13ある。そして意味によっては、3種類に分けられる。

第一種類は「得、必須、该、应该」などである。

この四つの言葉はそうする義務や責任がある、そうするのがあたりまえだ、当然そうなるはずだ、などの意である。動詞を受ける場合には、自分の決意や外界からの強制、周囲の状況から見て当然と思われる行為などを表す。形容詞などを受ける場合には、本性や成り行きなどによってそういう状態であることが当然、または必要、さらには望ましい、といった意識を表すのである。すなわち「～すべき」、「～しなければならない」、「～なければいけない」に相当する意味で、変化の程度を表す「越来越～」と呼応して使うことができない。

例(10):

- (×) 这顿饭越来越得我来请。
- (×) 这顿饭越来越必须我来请。
- (×) 这顿饭越来越该我来请。
- (×) 这顿饭越来越应该我来请。
- (×) 我们越来越得考虑事情的后果。
- (×) 我们越来越必须考虑事情的后果。
- (×) 我们越来越该考虑事情的后果。
- (×) 我们越来越应该考虑事情的后果。

「越来越～」は時間が経つにつれて程度が増すという意味で、程度上の変化を表すものである。一方、「得、必須、该、应该」は一般的な事柄について、話し手が義務だと主張したり、忠告したりしたい時に使う言葉で、相手の行為について用いるときには忠告、禁止、勧

告、命令などになるから、程度上の変化如何とはまったく関係がない。それ故、「越来越～」は「得、必須、该、应该」とともに使うことができない。

第二種類は「想、愿意、敢、要」などである。

この四つの言葉の意味は大体似ているが、「想、愿意、敢」は心理的活動を表す言葉で、「越来越～」と結びつけると「意欲の程度の変化」を表すので、「越来越～」とは自然に呼応できる。ただし「要」は難しいようである。

例 (11) :

- (○) 我越来越想和你好好聊聊。
- (○) 姐姐越来越愿意当一名教师。
- (○) 年轻人越来越敢想敢干。

「要」の意味には二つある。一つは「～すべき、～しなければならない」で、前述の「得、必須、该、应该」と同じである。もう一つは「何かをする意志、決心を表し、さらにすでに下した決心で、変わることがない」のである。だからどちらも程度の変化を表す「越来越～」と結びつけることができない。

例 (12)

- (×) 我们越来越要认真学习科学技术。
- (×) 开车越来越要小心。
- (×) 路况不好，大家越来越要注意。
- (×) 他越来越要学柔道。

第三種類は「能、能够、可以、会、可能」などである。

この五つの言葉は断定、能力、可能性、推測などの意味を持っているが、それぞれ分析しながら考えていこう。

「能、能够」は断定を表すものである。断定とははっきり判断を下すことである。すでに決まったことであり、程度の変化と関係がないので、「能、能够」は「越来越～」と結びつけることはできない。

例 (13) :

- (×) 我们越来越能完成任务。
- (×) 越来越能够看到很远的地方。
- (×) 类似的活动，小孩越来越可以参加。

「会、可能」は意味によって、「越来越～」と結びつける場合もあればできない場合もあるようである。

「会」は能力を表す場合に「越来越～」と結びつけることができるが、可能性を表す場合に

「越来越～」と結びつけることができない。

例 (14)

- (○) 她越来越会说日语。
- (○) 他越来越会打仗。
- (×) 水果熟了，越来越会从树上掉下来。
- (×) 小李的病越来越会好起来。

「可能」は可能性を表す場合に「越来越～」と結びつけることができるが、推測を表す場合に「越来越～」と結びつけることが難しいようである。

例 (15) :

- (○) 目的越来越可能达到。
- (○) 这个队越来越可能蝉联冠军。
- (×) 我越来越可能听错了。
- (×) 明天越来越可能刮风。

次は「越来越～」と一般動詞の関係を考えてみよう。

まずは、「越来越～」は心理活動、感情を表す動詞や兼類動詞と結びつけることができる。

例えば：爱、疼、差、团结、喜欢、反对、照顾、相信、感谢、关心、注意、欢迎、了解、怕、有、以为、感到、觉得、认为、知道などである。

例 (16) :

- (○) 他越来越爱孩子。
- (○) 越来越怕。
- (○) 越来越相信他。

「越来越～」は「摆、搬、办、帮助、输、看、买、卖、躺」などの動作動詞とは結びつけることができない。また、動詞の否定式も同じである。

例 (17) :

- (×) 越来越买书。
- (×) 越来越看电视。
- (×) 越来越帮助他。
- (×) 越来越不摆。
- (×) 越来越不搬。
- (×) 越来越不帮助。

ただし動詞を可能の否定に変える場合には「越来越～」と結びつけることができる。

例 (18) :

- (○) 越来越摆不下。
- (○) 越来越搬不动。
- (○) 越来越办不了事。

4. 「ますます」と動詞との関係について

動詞を性質から分類すると、状態動詞、持続動詞、瞬間動詞、形容詞の性質を持っている属性動詞がある。

状態動詞は主に存在、可能、状態を表す。可能と状態を表す場合には「ますます」が使えるが、程度の変化を表すために、「～ようになる」とよく呼応して使われる。一方、「存在」を表す動詞とは結びつけることができないようである。

例 (19) :

- (○) ますますできるようになりました。
- (○) ますます話せるようになりました。
- (○) 喫煙者に対する批判がますます高まっている。
- (○) このところ株価はますます上昇している。
- (○) 日本に入国する外国人は、ますます増える見込みだ。
- (○) 難しい文の意味を友達に聞いたら、ますますわからなくなった。
- (×) ますますある。
- (×) ますます勤めている。

持続動詞は動作が連続して進行することを表すので、程度の変化を表す「ますます」と呼応できない。中国語の動作動詞と考えられる。例えば：書く、読む、見る、降る、寝る、笑う、泣く、吸う、考える、歩く、勉強する。

例 (20) :

- (×) ますます書く。
- (×) ますます読む。
- (?) ますますテレビを見る。

ただし、「ますます勉強する」とは言える。ここの「勉強」は「習うこと自身ではなく、習う態度を強調する」のである。中国語に訳すと、「学习越来越勤奋、学习越来越用功」となる。

瞬間動詞は動作や作用がまたたくまに完成する動詞で、もちろん程度の変化を表す「ますます」とは結び付けられない。例えば：終わる、死ぬ、着く、届く、離れる、見つかる、結婚す

る、失う、卒業する、到着する、入学する。

例 (21) :

(×) ますます死ぬ。

(×) ますます結婚する。

属性動詞は形容詞の性質を持っているので、中国語の兼類動詞に似ている。例えば：すぐれる、似る、そびえる、ありふれる、富む、丸顔をする。

これらの言葉は状態、事実を描いているので、程度の変化と関係がない。中国語の兼類動詞は「越来越～」とともに使えるが、日本語の「兼類動詞 (属性動詞)」は「ますます」とは呼応できないようである。

5. 指導対策と教授法について

上述のように、「越来越～」と「ますます」は呼応の述語に厳しい制約があり、共通する点もあれば、まったく異なる点もある。中国語と日本語を外国語として学ぶ学習者、とくに中国語話者と日本語話者の初学者にとっては、母語干渉しやすいため、おかしな中国語あるいは日本語を口にしてしまう。

そのため、本稿では、学習者に誤用を最小限に減らし、正しい表現を習得してもらうために、具体的に以下の三つの面から正しい指導法を示したい。

まずは、学習者が作った不適切な文の原因を分析することである。言うまでもなく、学習者とくに初学者は多かれ少なかれ母語の影響を受けている。例えば「我的汉语越来越忘了」を日本語に訳すと、「私の中国語はますます忘れるようになりました」になるが、「忘」は中国語で普通の「動作動詞」であり「越来越～」とは呼応できないのである。日本語話者の中国語学習者は母語の「私、中国語、ますます、忘れる」を残らず中国語に訳したが、肝心の「～なる」を無視したと考えられる。実は「ますます」は「忘れる」と呼応するのではなくて、「～なる」と呼応するのである。もちろん、「ますます」は動詞と呼応できるが、変化を表す動詞に限られていて、それでなければ「～ようになる」を使うことが常識である。

次に、中国人は天候の挨拶をする場合に、「近来，天（气）越来越冷」というような表現をよく使う。そこで、中国話者の日本語初学者はこれを「近ごろはますます寒い」と直訳する。日本語の「ますます」は変化を表す言葉と呼応するから、正しい日本語は「近ごろはますます寒くなりました」となる。中国話者の日本語初学者がこのような不適切な文を作った原因は、中国語に変化を表す言葉を見つけられなかったからだと思われる。実は、ないのではなく、上の文の「冷」という言葉にすでに変化の意味合いが含まれているのであり、問題は中国の日本

語初学者はその意味を完全に理解していないからである。

上述のように、母語干渉は不適切な文を作った原因の一つだと分かるが、これを克服するにはまず学習者とくに初学者に基礎から教えなければならない。例えば、「沉甸甸、暖洋洋、漆黑漆黑、雪白雪白、安安静静、整整齐齐」などの「ABB型」、「ABAB型」、「AABB型」のような「重ね型形容詞」を教える場合、ただ漠然と形容詞は「越来越～」と呼応できると教えてしまうと、「包裹越来越沉甸甸」のような不適切な文が作ってしまう。同じように、中国語話者の日本語学習者に「ますます」を説明する時に、「変化性のある用言と呼応する」をまず教えたほうが適切である。

必要な基礎概念をきちんと理解しておかなければ、学習者とくに初学者は頻繁に誤用が起きてしまうことになる。

最後に、母語干渉の影響を克服するために、文型から導入する方法を提案したい。初学者には理屈よりも模倣から始め、学習していくうちにその意味、語感、呼応などを理解してもらったほうが今後の学習にも有益になる。

次のように、日本語話者の中国語学習者に「越来越～」を教える場合、以下の文型を示すとよい。

文型1、越来越+一般形容詞（例：教室越来越乱。）

文型2、越来越+想、愿意、要（例：她越来越不愿意我在这儿。）

文型3、越来越+可能動詞（例：不是会员也能参加本俱乐部的活动。）

文型4、越来越+心理活動を表す動詞（例：我越来越喜欢他。）

一方、中国語話者の日本語学習者には以下の文型を示すといい。

文型1、ますます+イ形容詞連用形（く）なる

文型2、ますます+ナ形容詞連用形（に）なる

文型3、ますます+動詞辞書形になる

文型4、ますます+変化動詞辞書形（一方だ）

もちろん、文型による教授法はすべての問題を解決することができない。しかし、学習者の状況に応じて必要な文型を有効に併用すれば、学習者とくに初学者の学習指導に役立つと考えている。

おわりに

以上は「越来越～」、「ますます」と形容詞および動詞の呼応関係を学習者の誤用例を見ながら考察してきた。そして中国語話者と日本語話者の学習者とくに初学者の不適切な文を作る原

因とそれに対する指導や教授法を示してみた。外国語教育においてはやはり母語干渉による様々な誤用を分析し、それに対する有効な指導や教授法の開発がこれからも大きな課題であると考えている。

本稿には、未熟なところが多々あろうかと存じます。皆様のご教示を願っております。

参考文献

- 西原玲子、川村よし子、杉浦由紀子、1987、『形容詞』荒竹出版
茅野直子、秋元美晴、真田一司、1987、『副詞』荒竹出版
岩岡登代子、岡本きはみ、1993、『動詞』荒竹出版
飛田良文、浅田秀子、2001、『現代日語副詞用法辞典』外語教学与研究出版社
劉曉華、羅麗相、2002、『日語近義句型弁析』大連理工大学出版社
飛田良文、浅田秀子、2002、『現代日語形容詞用法辞典』外語教学与研究出版社
胡明揚、金天相他、2003、『漢語言文化研究』広西師範大学出版社